

上場は“夢”じゃない!



福岡証券取引所
専務理事
酒井 慎一氏

福証から想いをかたちに 福岡証券取引所

地方証券取引所への上場を応援する Jトラストグローバル証券 (旧エイチ・エス証券)

地方創生が叫ばれる中、地域の直接金融の場となる地方の証券取引所の役割が改めて問われている。現在、東京以外には福岡、名古屋、札幌の3つの証券取引所が存在する。その中で、地域の視点を持ち地域経済と一体となった運営を展開する福岡証券取引所の酒井慎一氏と、地方証券取引所への上場サポートに実績のあるJトラストグローバル証券の堀修氏に地方証券取引所への上場する魅力を語ってもらった。

地域経済と一体となり 企業を支援してきた福証

— 福岡証券取引所とは、どのような取引所なのか。

酒井 地方の証券取引所として、地域の発展に貢献するべく、企業が株式上場を通じて持続的な成長と中長期的な企業価値向上を果たしていけるよう、上場前および上場後の支援を行っています。

上場会社数は108社(2022年10月末日時点)。福証でのみ取引ができる単独上場銘柄が25(同時点、本則19、Q-Board 6)ありますので、投資家の皆さんにぜひ注目していただければと思います。

— 最近の新規上場の状況について教えてください。

酒井 福証では2017~2021年度の5年間に8社が新規上場し、このうち4社は福証への単独上場です。また、同期間中に福証単独上場だった7社が、東証への同時上場を果たしています。

企業の成長ステージに応じた戦略として、まずは地方証券取引所に上場し、パブリック・プレッシャーの下で力を蓄えた

上で、東証との同時上場を目指すというルートも有力な選択肢だと思います。

— 地域経済の活性化のために、独自の上場支援策を行っているとのことですが、どのようなものですか。

酒井 上場前支援の核となる事業は、3~5年以内の上場を目指す企業を集中的にサポートする「九州IPO挑戦隊」です。九州の新興企業を中心に足掛け14年で66社が入会しています。

サポートの中心は「IPOチャレンジアカデミー」という年間7~10回程度のゼミナールです。アカデミーは、福岡県ベンチャービジネス支援協議会、中小企業基盤整備機構、九州ニュービジネス協議会との共催で、監査法人などの協力を得ながら実施しています。直近では、地方で人材不足といわれるIPO責任者の養成セミナーを、NPO法人などと協力して実施しています。

上場後の支援としては、IR活動のお手伝いがあります。2021年度にオンラインで実施した「福証IRフェア」には、福証上場会社のうち延べ24社が登壇しました。また任意団体「福証単独上場会社の

会」が運営するウェブサイト「IR NAVI」などに、福証が事務局としてお手伝いしています。

上場戦略のパートナーとしての Jトラストグローバル証券

— Jトラストグローバル証券(以下JTG証券)の福証上場企業の実績を教えてください。

堀 グランディーズ、大英産業、ピー・ビーシステムズ、Geolocation Technology、フロンティアが今までの福証での主幹事実績です。他にも、当社を主幹事として福証上場を目指している会社や、福証を選択肢の1つとしている会社が複数あります。

— 上場を目指す企業のパートナーとしてのJTG証券の強みとは。

堀 最大の強みは、さまざまなIPO業務を行ってきた経験豊富な人材です。私は大手証券やベンチャーキャピタルを経て、上場支援の仕事をして30年以上続けています。当社の引受部長も新卒で大手証券会社に入社して以降、上場支援一筋です。企業にとって上場準備は負担が大きい

業務です。当社では豊富な経験を生かし、企業の負荷を減らすべく、業態の特性なども踏まえたマニュアル通りではない提案をしています。

上場準備で押さえるべき ポイントとは

— 上場準備をする上で忘れてはいけないことは。

堀 上場申請をしても上場審査を受けるのは申請会社であり、上場審査をするのは取引所です。したがって、上場申請をしたら主幹事証券が出る幕はそれほどありません。何を申し上げたいのかというと、上場申請までに会社の人的レベル、いわゆる折衝力を上げるトレーニングをしておかないと上場はなかなか難しいということです。テクニカルなことよりも、そちらの方が大事だと思います。

最近では、地方証券取引所はもちろん、一般市場よりも上場コストが抑えられるTOKYO PRO Marketも含めて上場を検討する企業が増えてきました。当社では、上場準備の初期段階で企業との信頼関係を構築しながら、最も成長を加速させることが可能な市場はどこか企業と二人三脚で歩んでいきます。

福岡など地方での上場は 企業にとって有力な選択肢

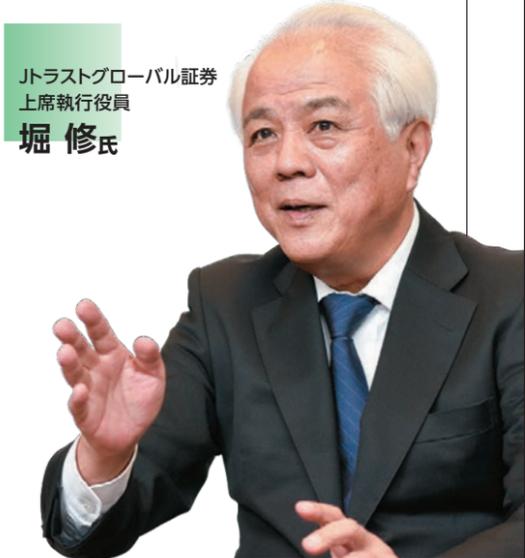
— 福証の今後の展開を教えてください。

酒井 福岡では現在、産学官一体で国際金融機能を誘致しようという機運が高まっています。ヒト(金融の専門人材など)とカネ(資金運用会社など)が福岡に集まる中で、福証でもこれまでと違った取り組みを進める絶好の機会になると考えています。地域経済界のお知恵も拝借しながら、具体化に向けた議論・検討を進めているところです。

— 地方企業に向けて、JTG証券からのメッセージをお願いします。

堀 当社は2022年10月にJトラストグローバル証券に社名が変わり、新たなスタートを切りました。とはいえ、IPOの業務においてやるべきことは変わりません。IPOの意向とポテンシャルのある会社をしっかりとご支援していきます。

地方の企業の上場への道のりは弾力的に検討しても良いのではないかと思います。地方証券取引所上場により、取引先の開拓や採用の円滑化など成長につながる恩恵を受けられる可能性が十分にありそうです。



Jトラストグローバル証券
上席執行役員
堀 修氏

また目先の成長とは少し異なる意味もあります。先日、福証から東証グローバル証券への上場を果たした会社の社長と話していたところ「最初に福証に上場して良かった」とおっしゃっていました。理由を聞くと「地元が福岡なのに、いきなり東証に上場したら、福岡を見限ったようにも思われる。福証に上場して恩返しをして、地元で賛同を得てから東証に行く。それが私の考え方に合っていた気がします」とのこと。大きな成長を遂げるためには、上場に対するさまざまな考え方や選択肢があると思います。

WEBセミナー

※事前予約制・参加費無料

地方企業の想いをかたちに ~地方証券取引所上場の魅力~

日時: 2022年12月9日(金) 15:30~16:30

第一部 福岡証券取引所の上場支援の概要

福岡証券取引所 専務理事 酒井 慎一

第二部 福証単独上場から東証同時上場への過程を語る

(株)ピー・ビーシステムズ 福岡証券取引所 Jトラストグローバル証券
代表取締役社長 富田 和久 専務理事 酒井 慎一 上席執行役員 堀 修

セミナー・個別相談会・資料請求のお申込みは

JTG 上場

検索

TEL 03-4560-0339